

赤ひげ賞

第10回赤ひげ大賞 (5人、順列は北から)

- 植田 俊郎 (岩 手) 植田病院院長
- 市川 晋一 (秋 田) 仙北市西明寺診療所、同市松木内診療所所長
- 藤村 穂 (埼 玉) シャローム病院院長
- 大石 雅之 (神奈川) 大石クリニック院長
- 佐藤 立行 (熊 本) 佐藤病院院長

体が続く限り地域貢献

地域で献身的な医療に取り組む医師を顕彰する第10回「日本医師会 赤ひげ大賞」(主催・日本医師会、産経新聞社、特別協賛・太陽生命保険)の大賞5人と功労賞13人の受賞者が決まった。大賞を受賞した5人の医師の日々の活動と功労賞受賞者を紹介する。



優しい表情で患者の緊張をほぐす植田俊郎医師 一岩手県大船町(唇名中撮影)

うえた・としろう 植田病院院長。昭和29年、岩手県大船町生まれ。67歳。金沢医科大学卒業。日本医科大学第一内科に入局し東京都立駒込病院循環内科や白十字総合病院内科へ出身。釜石市民病院長放射線科長・内科医員を経て植田病院を継承創業した。平成14年から釜石医師会副会長。

植田俊郎氏 (岩手県大船町)
岩手県大船町の市街地を襲った昨年日本最大規模の民家津波を同じ町民として経験した。異様に長く続く雨で30分前後、4階建ての自宅兼診療所の狭間で2人、3人、4人、5人と、雨の音を聞きながら、自分自身を必死で守る。雨の音を聞きながら、自分自身を必死で守る。雨の音を聞きながら、自分自身を必死で守る。...

救助された翌朝、避難所で診療再開

冬の北アルプスの厳しい寒風もあつた。岩手県大船町の市街地を襲った津波。翌朝、救助された翌朝、避難所で診療再開。植田俊郎氏、雨の音を聞きながら、自分自身を必死で守る。雨の音を聞きながら、自分自身を必死で守る。...

市川晋一氏 (秋田県北本市)
秋田市の東部に位置する北本市(この市は旧鹿角市(西木地区)の唯一の医師)で20年、地域医療の発展に貢献している。...

名著と出会い農村医療の道を志す

秋田市の東部に位置する北本市(この市は旧鹿角市(西木地区)の唯一の医師)で20年、地域医療の発展に貢献している。...

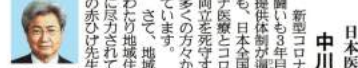
藤村穂氏 (埼玉県)
埼玉県に生まれ、大阪府立医科大学を卒業。...



診療の際、気さくに話しかける市川晋一医師 一秋田県北本市

いしかわ・しんいち 仙北市西明寺診療所・松木内診療所所長。昭和26年、兵庫県西宮市生まれ。70歳。秋田大学大学院医学研究科修了。JA仙北組合総合病院(現大曲厚生医療センター)泌尿器科科長を経て、平成12年、西木村立西明寺診療所と松木内診療所の所長となる。

推薦方法と推薦基準
【推薦方法】本賞受賞にふさわしいと思われる医師1人を各都道府県医師会会長が推薦
【推薦基準】病を診るだけではなく、地域に根付き、その地域のかかりつけ医として、生命の誕生から看取りまで、さまざまな場面で住民の疾病予防や健康の保持増進に努めている医師。日本医師会の会員および都道府県医師会の会員で現役の医師(ただし、現職の日本医師会・都道府県医師会役員は除く)公式ホームページ

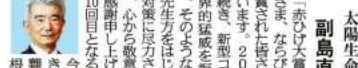


日本医師会 中川俊男会長

新型コロナウイルス感染症の関わりも3年目となりました。医療提供体制が逼迫するなかにおいて、日本国の医療従事者はコロナ医療にコロナ以外の通常の医療の両方を死守するべく奮闘して努力している。...

地域医療の充実に向け全力

各県の先生方の御尽力により、地域医療のさらなる充実と患者の満足度の向上を図ることを願っています。赤ひげ大賞を受賞された先生方には、改めて功労賞を授けたいと考えています。...



太陽生命保険 副島直樹社長

「赤ひげ大賞」を受賞された5人の皆さま、ならびに「赤ひげ功労賞」を受賞された皆さま、誠にありがとうございます。2021年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症が世界的猛威を振るう年となりました。そのなかでの活動、大変お疲れさへした。...

現場での献身的な姿に感銘

い、医療現場の最前線で地域医療のために献身的に活動される皆さまの熱い感謝を受けました。...

26日 BSフジで特別番組を放送

「密着！ かかりつけ医たちの奮闘～第10回赤ひげ大賞受賞者～」
放送日：3月26日(土) 14:00～14:55

- 【主 催】 日本医師会、産経新聞社
- 【後 援】 厚生労働省、フジテレビ、BSフジ
- 【協 力】 都道府県医師会
- 【特別協賛】 太陽生命保険株式会社

元気！長生き！ **太陽生命**

予防！? **認知症を** **保険で、**

人生100歳時代をずっと元気に生きていくために。保険にはもってこいできることがあると、太陽生命は考えます。

たとえば認知症保険も、治療だけでなく予防のためにも使えるよう進化しています。太陽生命の「ひまわり認知症予防保険」なら、加入1年後から2年ごとに、予防給付金が受け取れるので、軽度認知障害(軽度認知障害)の検査や様々な認知症予防のために活用できます。変化し続ける時代のニーズに、太陽生命は保険でお応えしていきます。

ひまわり認知症 予防 保険

※当広告では選択額和型認知症診断保険に生存給付金特別を付したプラン「ひまわり認知症予防保険」としてご案内しています。

【太陽生命資料請求ダイヤル】 営業時間：月～金 9時～17時 ※窓口外は新着音声にて4時間受付しています。

0120-04-22-33 (通話無料)



診察する齋藤格氏
—埼玉県東松山市(三尾町撮影)

境遇問わず治療に尽力

すきから・みのる 齋藤格氏(埼玉県東松山市)は、信州大学医学部を卒業後、故郷にシャローム病院を開設し、がん患者のホスピスケアを本格的に開始した。

シャローム病院院長。昭和22年、埼玉県東松山市生まれ。74歳。信州大学医学部を卒業後、故郷にシャローム病院を開設。25年、同大助教を辞し、シャローム病院を開設。地域で唯一の緩和ケア病棟を開設し、がん患者のホスピスケアを本格的に開始した。

大石雅之氏(熊本県)

精神科医として人事を尽くす生き方。昭和22年、熊本県大分市生まれ。44歳。熊本大学医学部を卒業後、福岡県に勤務。その後、熊本県に帰郷し、精神科医として活動。現在は、熊本県大分市に在住。熊本県立病院で勤務している。



佐藤立雄氏
—熊本県宇城市

佐藤立雄氏(熊本県宇城市)は、熊本県立病院で勤務している。現在は、熊本県立病院で勤務している。熊本県立病院で勤務している。

「主人」である患者の要望 最大限に

「おれは、主人である患者の要望を最大限に満たすことが、医師としての使命だ」と、大石雅之氏は語る。熊本県立病院で勤務している大石氏は、患者の要望を最大限に満たすことが、医師としての使命だと語る。

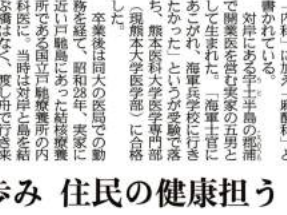


診察する大石雅之氏
—横濱市中区(飯田英男撮影)

おおいし、まさゆき 大石クリニック院長。昭和29年、広島市生まれ。68歳。東京慈恵会医科大学を卒業後、54年に同大麻酔科、56年には同大精神科に入局した。麻酔科医として活動している。

辛抱と温情で「心の病」に寄り添う

「心の病」に寄り添う。大石氏は、患者の辛抱と温情で「心の病」に寄り添う。大石氏は、患者の辛抱と温情で「心の病」に寄り添う。



佐藤立雄氏
—熊本県宇城市

佐藤立雄氏(熊本県宇城市)は、熊本県立病院で勤務している。現在は、熊本県立病院で勤務している。熊本県立病院で勤務している。

島とともに歩み 住民の健康担う

島とともに歩み、住民の健康を担う。佐藤立雄氏は、島とともに歩み、住民の健康を担う。佐藤立雄氏は、島とともに歩み、住民の健康を担う。

赤い夜賞

- 赤い夜功労賞受賞者(18人)
秀貞(北海道) 今金町介護老人保健施設所長
今村 憲市(青森) 今村クリニック院長
丸山 博(千葉) 松戸クリニック理事長
鈴木慎太郎(東京) 昭和大学病院呼吸器・アレルギー内科講師、診療科長補佐
吉田まゆみ(福井) 吉田医院副院長
露木 弘光(山梨) 露木耳鼻咽喉科医院院長
河合 俊(静岡) 河合クリニック院長
西城 英郎(三重) 西城外科内科学長
赤木 重典(京都) 京丹後市立久美浜病院院長
田中みずす(大阪) もり内科クリニック理事長・院長
山田 忠信(広島) 山田医院院長
星子 卓(福岡) 星子医院副院長
木原 晃一(鹿児島) 木原医院院長

選考委員コメント

- 羽毛田信吾委員(昭和三井病院、前宮内庁参事)
向井千秋委員(東京理科大学特任副学長)
榎ふみ委員(俳優)
ロバート・キャンベル委員(早稲田大学特任教授)
河合雅司委員(作家、人口減少対策総合研究所理事長)
伊原和人委員(厚生労働省医政局長)

太陽生命 がん・重大疾病 予防保険
元気!長生き! 太陽生命
保険に入って、元気になる時代へ。
もし、病気に「ならないため」に使える保険があったら。
予防給付金+一時金最高2000万円
予防給付金+一時金最高2000万円
がん・重大疾病予防保険
がん・重大疾病予防保険
がん・重大疾病予防保険